

チェルノブイリと福島 甲状腺ガン多発と避難問題を考える

東京講演会

3/2 (月) 13:00～ (通訳つき)

当日参加可!

「子どもの痛みをなくす」プロジェクトを
ウクライナで実施しているタチアナさんをお迎えして、
さいたま市、郡山市で講演会が行われた後、
3月2日(月)に、東京でも衆議院会館で講演会を行います。
福島で、甲状腺ガンの子どもは、疑いも含めて112人に。
ウクライナでの強制移住区域(5mSv/年以上)に相当する
福島市、郡山市、伊達市、二本松市、本宮市より、
もっと汚染のひどい福島県の避難指示区域に、
政府は、避難している子どもたちを戻そうとしています。
ウクライナでは低線量の汚染地域で、今、ガンだけでなく、
頭痛、足痛、皮膚障害などの症状で、多くの人が苦しんでいます。
タチアナさんは、29年前のチェルノブイリ事故当時は妊娠中。
看護師ですが、自らも母として貴重な経験をされながら、
ラトビアへの移住や、事故から6年後の強制移住を体験し、
フランスの研究機関による甲状腺ガン調査にもかかりました。
ウクライナの長い経験から今、福島で何が必要かを考えます。
多くの方のご参加をお待ちします。



タチアナ アンドロシェンコ女史



阿部知子議員



山本太郎議員

講演会 タチアナ女史 シンポジウム

阿部知子議員(民主党、医師)…交渉中
山本太郎議員(生活の党と山本太郎となかまたち)…交渉中
ほか、甲状腺ガン専門医…予定

懇親会

会場：衆議院第二議員会館 大会議室
(国会議事堂前1番出口 徒歩4分、
永田町1番出口 徒歩4分)
資料代：1000円(定員300名)

